

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		-	-
(北陸)		コンビニ（店舗管理）	・新型コロナウイルスの感染拡大が多少は落ち着き、自粛もある程度は緩和されている。
		一般レストラン（統括）	・先のみえない新型コロナウイルスの感染拡大だが、世界的には中国などを始め、先週から外出自粛を解く方向に動いており、経済復興を始めている。現時点で日本は5月6日まで外出自粛が続くが、その後は少なからず世界情勢に足並みをそろえる動きもあるかと考えるため、3か月後は現状よりもやや上向きの状況に向かっているとみている。
		百貨店（営業企画）	・たとえ新型コロナウイルスが少しずつ終息に向かったとしても、元どおりの状態に戻るのには時間が掛かると考える。
		スーパー（店長）	・外出自粛が継続しても現状より大きく伸びることはないかとみている。
		衣料品専門店（店舗運営）	・生活必需品以外に対する消費の冷え込みはしばらく続くと考えている。
		自動車備品販売店（役員）	・新型コロナウイルスの終息、又は感染者数の減少次第で大きく変化するので判断できないが、このまま続くようなら更に悪化すると考える。
		住関連専門店（役員）	・先行きが不透明な経済への不安がある。現在は生活必需品の確保に家計の消費が動いている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・取りあえず今が最低だと思っているが、この後も新型コロナウイルスによって、どうなるか分からない状態が続くので、今よりも悪くなる可能性もあるし、これから少しずつ良くなっていくという希望的観測もある。2～3か月先の予想がつく人は、日本中、世界中を探してもいないと考える。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか分からず、いつ営業が再開できるか分からない。
		旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスの終息宣言が出るまでは、回復の兆しが見込めない。
		タクシー運転手	・まだまだ良くなる傾向がみえず、先行きは全く不透明で、悪い状態がまだまだ続くかとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息するまで通信キャリアの意向に沿う形でしか販売できない可能性があるため、先がみえない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染を恐れずに営業ができるようになるには、今年一杯掛かると考える。
		住宅販売会社（従業員）	・人と人のつながりが分断されており、当社の営業手法は通用しなくなっている。新型コロナウイルスの終息を待って営業できるのか、今は新しい営業手法を試しながら地道な活動を続けるしかない。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・誰もが感じているとおり、現状と変わらずか悪くなるかだと考える。先がみえない状態が続くとみている。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響により消費が落ち込む。
		コンビニ（エリア担当）	・客の買物の仕方は変わらないかもしれないが、雇用の不安から消費意欲は下がる可能性が大きい。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、来客数は激減しそうである。
		家電量販店（本部）	・まだまだ自粛ムードは継続しそうである。治療薬やワクチンが開発されない限り、今までの生活には戻れず、景気回復は見込めない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で営業時間が短縮となり、来客数も明らかに少なくなっている。景気が良くなる要素が見当たらない。
	×	商店街（代表者）	・今年計画されていた大規模再開計画も、新型コロナウイルスの影響でどうなるか分からない。この状況で支援してくれる金融機関があるはずもなく、先が全く読めない状況である。
	×	商店街（代表者）	・いつまで続けられるか体力勝負のところがあり、先は見当が付かない。

×	商店街（代表者）	・5月末まで県立学校の休校がほぼ決まり、事実上5月も店頭販売再開のめどが立たない。6月以降も大型イベントの中止が決まっており、秋の行楽シーズンまでには終息をと願うばかりである。ネット通販の売上は前年比で130%と好調のため、経営を維持できる売上確保に向け、努力を続けていきたい。
×	一般小売店〔精肉〕（店長）	・今月中旬から他のフロアがクローズになっていたが、4月27日からは食品フロアもクローズしている。来月6日までクローズの予定となっているが、その後は未定ということで、どんどん延びるようであれば、まだまだ悪くなってくると考える。早く終息すればという感じである。
×	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・新型コロナウイルスの終息が見込めない。
×	百貨店（売場主任）	・緊急事態宣言の期間が5月7日以降も延びるのか、あるいは延びないとしても制約付きの解除になるのか、全く分からない状況である。回復には時間が掛かると考える。
×	百貨店（販売促進担当）	・仮に新型コロナウイルスが終息しても、生活必需品を優先する動きは否めない。主軸のアパレルが更に打撃を受けるため、3か月程度で回復するとは考えられない。
×	百貨店（販売担当）	・仮に5月初めに営業を再開できたとしても、客の心理的に、すぐ来店して各種購入が増えるとは考えられない。化粧品や肌着などの必需品、ギフトや商品券などの購入は、反動で一時的には増加を見込んでいる。しかし、当面の外出制限があるなか、旅行用品や旅行に関連するお出掛けファッションが回復するとは見込めない。百貨店にとって全体の数値を押し上げる衣料品は当面苦戦が予測される。当面の利益確保のため春物や初夏商材は、在庫処分による値下げが拡大し、秋までクリアランスセール化する可能性がある。1品単価、客単価共に下がり、利益率も下がる負のスパイラルが当面続くとみている。
×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息までは消費の拡大は考えられない。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で近くの学校が休校になり、来客数が激減している。
×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえない。
×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス終息までの期間が読めない。5月は例年であればゴールデンウィーク中の売上が多く、潤う月になるが、昨今の状況からゴールデンウィーク中も自粛の流れが続き、客の行動も限定的である。今までに経験したことのない前年割れが起こると考える。4月は前年比で50%程度の地区もあり、致命的な状況が今後も続きそうである。
×	衣料品専門店（経営者）	・店の再開のめどは立たないし、再開しても当分客は戻ってこないと考える。大変厳しい状況である。
×	衣料品専門店（総括）	・2～3か月で終息するとは見込めない。
×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、セールやチラシ配布の自粛もあり、前年の売上に対する対策が打てない。また、取引メーカーとの商談もできず、キャンペーン等の計画も行えない。
×	乗用車販売店（経営者）	・街中の閑散とした様子やメーカーの工場生産停止等の状況から、しばらくは悪い状態が続くと考える。
×	乗用車販売店（従業員）	・現状では当分終息する感じがしない。
×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・まずは全国の緊急事態宣言、県からの休業要請の解除等により営業を再開しないといけない。しかし、県内での新型コロナウイルスの感染が引き続き拡大傾向にあるため、たとえ営業が再開したとしても商業施設への警戒感が緩むのは当面先になると考える。
×	高級レストラン（スタッフ）	・営業を再開しても、特に県外団体客の利用などは回復に時間を要すると考える。
×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの終息次第だが、現状では見通しが立たない。開店はできないが、このままの状態で閉店したくない。このままではお先真っ暗である。
×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、先行きが見通せない。夏以降もこのような状況が続けば、運営自体に影響が出てくる。

	×	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響により宿泊者は大幅に減少している。4月23日に観光ホテルに対して営業自粛の協力要請が出たこともあり、5月の休業が決定している。	
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響で営業再開の時期がみえない。人件費や賃借料の負担が大きい。雇用調整助成金の入金も遅く、足元の資金繰りに間に合わない。賃借料の交渉にも時間が掛かり、支払に苦慮している。売上がない今の状況で先の景気の見通しは立たない。	
	×	タクシー運転手	・今日現在、当地の県立高校が5月末まで休校となり、緊急事態宣言がまだ続くという恐れがある。	
	×	通信会社（職員）	・直接的な影響は少ない業種ではあるが、新型コロナウイルスの感染拡大による先行き不安のため、解約や休止の申請及び相談が増えてきている。長期的なサービス対応をせざるを得ない状況である。	
	×	通信会社（店舗統括）	・この状況が終息に向かわない限り販売数は増えない。	
	×	通信会社（役員）	・緊急事態宣言が続く場合、営業自粛が続き、新たな契約が見込めない。	
	×	テーマパーク（役員）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況では終息の兆しがまだみえないことから、3か月先も現状と変わらず厳しい状況が続くと考える。	
	×	パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルスの終息はみえず、ますます悪化していくと考える。	
	×	その他レジャー施設 [ スポーツクラブ ]（総支配人）	・新型コロナウイルスの終息が見通せず、売上は半減している。固定費、中でも特に人件費が回収できる状況では全くない。	
	×	住宅販売会社（従業員）	・社会が前向きになるのはまだまだ先と考えている。	
	×	住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場を閉鎖したため、更に人の動きが止まっており、集客が難しい。	
	×	住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大に終息の見通しが立つまでは、改善要素は皆無である。	
企業 動向 関連  (北陸)		-	-	
		-	-	
		-	-	
		食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルスの影響が更に深刻化し、財布のひもがどんどん固くなるのではないかと考える。	
		精密機械器具製造業（役員）	・今月以降、製造業に対する新型コロナウイルスの影響は更に大きくなっていくとみられる。緊急事態宣言も延長され、先行きが不透明ななか、当社の扱う製品は必需品であるため、新学期シーズン等の再需要に期待したい。	
		輸送業（役員）	・新型コロナウイルスによる影響がある。	
		不動産業（経営者）	・今は問合せや相談といった話が全く出でおらず、しばらく止まっていくのではないかと考える。	
		税理士（所長）	・緊急事態宣言が出て1か月も立たないが、従業員が休んだりいろいろすることで何とか事業所として体をなしている。企業や事業所向けの支援が分かりづらい、あるいは受けられないという状況が続いている。2～3か月たつと事業所が消えていくのではないかと懸念がある。事業所が消えると新型コロナウイルスが終息しても、景気の回復がおぼつかないのではないかと心配している。	
		×	繊維工業（経営者）	・このような状態が続くと、5～6月は更に厳しい状況になると考える。今年の後半については、皆目先がみえない状況である。
		×	プラスチック製品製造業（企画担当）	・世界規模での新型コロナウイルスの感染拡大は当分続くと考えられる。完全に終息するまでは経済の回復も非常に厳しいものとみられ、住宅着工や建設業界のみならず、経済全般での大きなマイナスの影響が避けられない。
	×	金属製品製造業（経営者）	・受注がどんどん減少し、客の工場が停止したり臨時休業になったりしている。	
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で設備投資がストップしている。また、営業活動もできないので大変厳しい状況である。	
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・現状での受注状況は、数か月前に注文を受けたものであり、足元でキャンセルや納期変更の影響が出てきているが、この先の注文に関しては、明らかに減少してきており、数か月先の生産減少は避けられない状況である。	
	×	建設業（経営者）	・建設業界は、新型コロナウイルスの影響で非常にダメージを受けている。土木工事業についてはそれほどでもないが、発注の手控えなどがあり、景気が悪くなると考える。	

	×	建設業（役員）	・新型コロナウイルスの終息の見込みは薄いと考える。	
	×	通信業（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いている今の状況をみれば、企業活動への影響が更に増大することは明らかである。従来の提案営業ができるか心配である。	
	×	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立っておらず、経済活動はしばらく止まったままである。仮に休業要請等が解除され、経済活動が動き出しても平常時に戻るには時間を要する。	
	×	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出の自粛や営業自粛の要請により、幅広い産業で売上が減少している。影響が長期化することも考えられ、今後新型コロナウイルスの影響による倒産の増加も危惧している。	
	×	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・4月は新型コロナウイルスの影響で、折込広告の申込みが相次いでキャンセルとなっている。チラシ印刷後のキャンセルも多く、緊急事態宣言の発令や県内でのクラスターの発生等で事態が悪くなるたびにキャンセル件数が増加している。終息が宣言されるまで、先のみえない状況である。	
	×	司法書士	・今はまだ受託していた仕事が続いているが、不動産業者からは全く仕事がないと聞く。	
雇用 関連  (北陸)		-	-	
		-	-	
		人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスの影響で求人募集も少なく、景気が良くなるらない。	
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言の解除がどうなるか次第のところもあるが、求職者並びに派遣先が新たな雇用に向けて、それほど活発な動きにはならないと考える。新型コロナウイルスの完全な終息まで僅かな動きがあるだけではないか。まだまだ不安材料が多すぎる。	
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの終息が、現段階ではまだはっきりしていない。	
		-	-	
		×	求人情報誌製作会社（編集者）	・景気の見通しが全く立たない。
		×	新聞社〔求人広告〕（営業）	・全てが止まっている。新型コロナウイルスが収まったとしても、すぐに企業の活動が再開し、回復するかは不明である。
		×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの終息がみえたとしても、その間に停滞、消失したものを取り戻すために要する期間が分からない以上、良くなる見通しはない。
		×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で、求人数が大幅に減少している上に、採用計画の見直しのため求人取消しも多くなっている。雇用調整助成金の問合せも増加している。
	×	民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、倒産や休業等での収入減の人が増え、消費も冷えて景気は悪化に向かうと考える。	
	×	学校〔大学〕（就職担当）	・企業が通常の業務を行えない。	